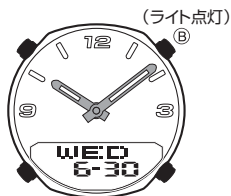


ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、**ⓑ** ボタンを押すとライトが約 1.5 秒間点灯します。

→ 暗いところでも、時刻を見ることができます。



■ ご注意 ■

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中に **ⓑ** ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

操作のしくみと表示の見方 （表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。）

- ◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
- ※ 各モードで **ⓑ** ボタン以外のボタンを押した後に **Ⓒ** ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。
- ※ テレメモモード、アラームモード、ハンドセットモードのまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。
- ※ どのモードのときでも、**Ⓒ** ボタンを約 1 秒間押すと直接時刻モードに戻ります。

時刻モード

★表示切替について
Ⓐ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

<カレンダー表示>
 月・日 WED 6-30 曜日

<時刻表示>
 午後マーク P 36 10:08 秒 時・分 (12/24時間制切替)

★曜日の見方
 SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
 THU:木 FRI:金 SAT:土

★12/24 時間制表示切替について
 時刻表示のとき、**Ⓓ** ボタンを押すごとに12時間制表示（午前はA/午後はPが点灯）と24時間制表示とが切り替わります。

テレメモモード

モードマーク データ残り件数

TEL F:29

CAS

名前 ページ番号

ワールドタイムモード

モードマーク

W.T 8:08

NYC 8:08

都市コード ワールドタイム

アラームモード

スヌーズアラーム

SNZ 12:00

アラーム時刻

ハンドセットモード

モードマーク

H-S 10:08

36 10:08

ストップウォッチモード

モードマーク

STW 0:00

00.00 0:00

計測値

タイマーモード

モードマーク

TMR 0:00

00 0:00

タイマー時間

テレメモの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい
 ◎ ボタンを押し、テレメモモードにします。

テレメモモードでは、名前（8文字）と電話番号（16桁）のデータを最大30件記憶できます。

※テレメモモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※データを入力すると名前順に並び替わりますので、データを探すときも大変便利です（自動ソート）。

*自動ソート 記憶されたデータは名前の先頭から比較し、(空白)、アルファベット (A ~ Z)、記号 (@ ! ? ' , . ; :) / + -、数字 (0 ~ 9) の順で自動的に整理されます。

データのサーチ

1. 名前を選ぶ

テレメモモードのとき、
 ◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに名前順に表示されます。

※押し続けると早送りします。

※名前が4文字以上のときは、右から左へ流れて表示されます(データの最後に「◀」マークがつきます)。

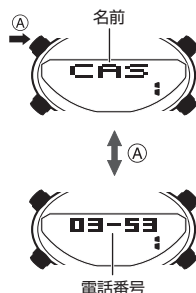


2. 表示を切り替える

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに名前と電話番号の表示が切り替わります。

※電話番号が6桁以上のときは、右から左へ流れて表示されます(データの最後に「▶」マークがつきます)。



3. ~ 4. の操作を繰り返して、データを入力します。

※名前は最大8文字まで入力できます。名前部に入力できる文字は(空白)、アルファベット(A ~ Z)、記号(@ ! ? ' , . ; :) / + -、数字(0 ~ 9)です。

※電話番号は最大16桁まで入力できます。電話番号部に入力できる文字は(空白)、0 ~ 9、() + -です。

5. セットを終わる

◎ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※続けて他のデータを入力したいときは、1. ~ 5. の操作を繰り返し行ないます。



データの修正/消去

1. ◎ ボタンを押して修正/消去したいデータを選びます

2. ◎ ボタンを約1秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

3. データを修正/消去する

★データ修正 ◎ ボタンを押して修正したい箇所
 に点滅を移動させ、◎ または◎ ボタンを押して正しい文字(数字)を表示させます。

★データ消去 ◎ ボタンと◎ ボタンを同時に押します。
 "CLR"表示後、データが1件消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

4. 修正/消去が終わりましたら、◎ ボタンを押して点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

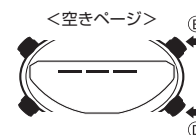
データを入力する

1. 空きページを選ぶ

テレメモモードのとき、
 ◎ ボタンと◎ ボタンを同時に押します

⇒ 空きページ表示になります。

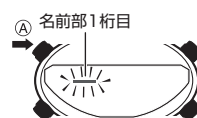
※データがすでに30件記憶されているときは、不要なデータを消去しておいてください(「データの修正/消去」参照)。



2. セット状態にする

◎ ボタンを約1秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

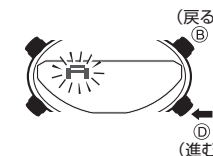


3. 点滅箇所のセット

◎ または◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。



4. セット箇所を選ぶ

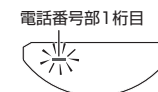
◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。

※押し続けると点滅箇所が早く移動します。



※名前8桁分を送ると、電話番号部の1桁目が点滅します。



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたい ◎ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン(30都市)の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、
 ◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。

※押し続けると早送りします。



ワールドタイムの合わせ方

ワールドタイムの時刻は、表示される都市のうち、ある1つの時刻を合わせると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

1. 都市コードを選ぶ

ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

例) 都市コード "TYO" (東京) をセットする



2. セット状態にする

◎ ボタンを約1秒間押します

⇒ "DST"マークと"ON"または"OFF"が点滅します。

※このとき、◎ ボタンを押すごとにサマータイム(DST)のON/OFFを設定することができます。(「サマータイムのON/OFF設定」参照)



3. 「時」のセット

Ⓒ ボタンを押します

→「時」が点滅します。

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓔ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ Ⓓ ボタンと Ⓔ ボタンを同時に押すと、基本時刻と同じ時刻で「時・分」がセットされます。



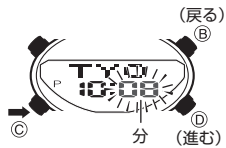
4. 「分」のセット

Ⓒ ボタンを押します

→「分」が点滅します。

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

→「時」のセットと同様にⒹまたはⒺボタンでセットします。



5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムのON/OFF設定

1. ワールドタイムモードのとき、Ⓐ ボタンを約1秒間押します

→ "DST" マークと "ON" または "OFF" が点滅します。

2. Ⓓ ボタンを押します

→ サマータイムの ON / OFF が切り替わります。

※ ON = サマータイム ON (夏時間)

OFF = サマータイム OFF (通常時間)

※ サマータイムを ON にすると、通常の時刻より1時間早まります。

3. Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは1分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過 (タイムアップ) すると、10秒間電子音が鳴ります。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、
Ⓐ ボタンを約1秒間押します

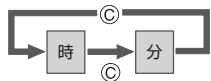
→「時」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

→ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓔ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りします。



2. ~ 3. の操作を繰り返して、タイマー時間を合わせます。

※ 1分単位で24時間までセットできます。

※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を "0:00" にします。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
PPG	パゴパゴ	-11		CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、イスタンブール
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム		
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、ナイロビ、リヤド、アディスアベバ
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル/タコマ	MOW	モスクワ		
DEN	デンバー	-7	エルバソ、エドモントン	THR	テヘラン	+3.5	
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、メキシコシティ、ダラス/フォートワース	DXB	ドバイ	+4	アブダビ、マスカット
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、リマ、マイアミ、ボストン	KBL	カブール	+4.5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ、ラパス	KHI	カラチ	+5	マーレ
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、ブエノスアイレス	DEL	デリー	+5.5	
---		-2		DAC	ダッカ	+6	コロンボ
---		-1	アゾレス諸島	RGN	ヤンゴン	+6.5	
LON	ロンドン	+0	ダブリン、リスボン	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	HKG	ホンコン (香港)	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
BER	ベルリン	+1		TYO	東京	+9	ソウル、平壤
				ADL	アデレード	+9.5	
				SYD	シドニー	+10	グアム、ラバウル
				NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

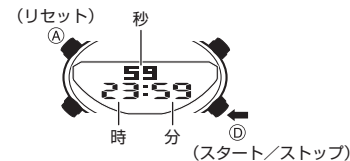
※ この表は2003年6月現在作成のものです。

※ この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
※ 計測は1秒単位で行ないます。



- 計測ストップ後、Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。
- ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたいが③ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームの使い方

● アラームについて

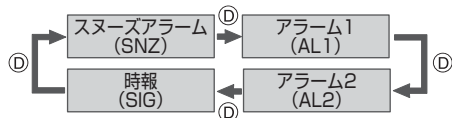
- スヌーズアラーム (SNZ)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。なお、ボタンを押して音を止めても、再び鳴り出します。
- 通常アラーム (AL1、AL2)
設定した時刻になると、10秒間電子音が鳴ります。

● アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、**①** ボタンを押します

→ **①** ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。



2. セット状態にする

② ボタンを約1秒間押します

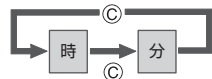
→ 「時」が点滅します。
※該当のアラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



3. セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

→ **③** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

④ または **⑤** ボタンを押します

→ **④** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**⑤** ボタンを押すごとに戻ります。
※ **④**・**⑤** ボタンとも、押し続けると早送りします。



3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

⑥ ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

● アラームの ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**①** ボタンを押して、設定したいアラーム (SNZ、AL1、AL2) を選びます。

⑦ ボタンを押します

→ **⑦** ボタンを押すごとにアラームの ON / OFF が切り替わります。
※該当のアラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。



<アラームマークの見方>



● 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- ※スヌーズアラームのときは、再び鳴り出します (スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します)。
- ※「●アラームの ON / OFF 設定」の手順でスヌーズアラームを OFF にすると、スヌーズアラーム機能が解除され、以後音は鳴りません。

■ ご注意

●スヌーズマーク点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報音を中断します。

- ・時刻モードでセット状態に入ったとき。
- ・アラームモード (スヌーズアラーム) でセット状態に入ったとき。

●基本時刻のセット中にスヌーズアラーム時刻と一致した場合は、1回のみ報音を行ないます。

● モニターアラーム

アラームモードのとき、**①** ボタンを約1秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■ 時報の使い方

● 時報について

毎正時 (00 分) に “ピッピッ” と電子音を鳴らすことができます。

● 時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**①** ボタンを押して、時報表示 (SIG) を選びます。

⑧ ボタンを押します

→ **⑧** ボタンを押すごとに時報の ON / OFF が切り替わります。

※時報マークが点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。



ストップウォッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたいが③ ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**⑨** ボタンを押します

→ **⑨** ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

(スプリット/リセット) 秒 1/100秒



● 通常計測

⑨ → **⑩** → **⑪**
スタート ストップ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに **⑨** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測

⑨ → **⑪** → **⑫** → **⑬** → **⑩** → **⑪**
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット
└─スプリットタイム表示─┘

● 1・2 着同時計測

⑨ → **⑪** → **⑫** → **⑬** → **⑩** → **⑪**
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

- 計測中に **⑪** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- 計測終了後 **⑪** ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

時刻モードのとき、**(A)** ボタンを約1秒間押します



⇒「秒」が点滅します。

2. 「秒」合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **(D)** ボタンを押します



⇒「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。

3. サマータイムのON/OFF設定

(C) ボタンを押します

⇒「DST」マークと「ON」または「OFF」が点滅します。

(D) ボタンを押します

⇒サマータイムのON/OFFが切り替わります。

※ON = サマータイム ON (夏時間)
OFF = サマータイム OFF (通常時間)

※サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。

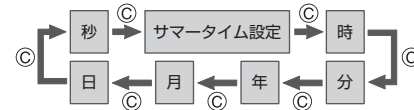


4. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. 点滅箇所を選ぶ

(C) ボタンを押します

⇒ **(C)** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



b. 点滅箇所をセットする

(D) または **(B)** ボタンを押します

⇒ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **(D)**・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。



5. セットを終わる

(A) ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

a. ~ b. の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前 (A) / 午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。
※正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

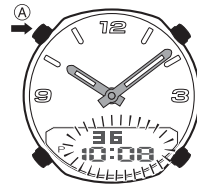
■ アナログ部 (針) の合わせ方

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備: 「操作のしくみと表示の見方」にしたがい **(C)** ボタンを押して、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき、**(A)** ボタンを約1秒間押します



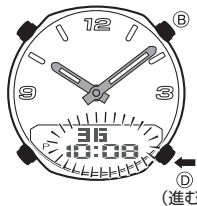
⇒表示が点滅します。

2. アナログ部を合わせる

(D) ボタンを押します

⇒ **(D)** ボタンを押すごとに時計回りに1/3分 (20秒) ずつ進みますので、アナログ針を合わせます。

※押し続けると早く進みません(針は逆方向には進みません)。



★ 針の自動早送り

(D) ボタンを押し続けて早送り中に **(B)** ボタンを押すと、ボタンから手を離しても針が進み続けます。

※自動早送りは時計針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

3. セットを終わる

(A) ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。